



報道関係者各位

Press release

2014年10月20日

株式会社日昇

代表者 高橋重憲

**燃えるように光る、たき火をモチーフとした
間接照明「TAKIBI（タキビ）」を新発売**

株式会社日昇（愛媛県伊予市、代表取締役社長：高橋重憲）は企画・販売を行う照明ブランド「BeauBelle（ポーベル）」にて、株式会社 Tree to Green（東京都世田谷区、代表取締役社長：青野裕介）と株式会社キシマ（兵庫県三田市、代表取締役社長：亀田昌宏）の3社で共同開発した、たき火の炎を再現する間接照明「TAKIBI」を10月20日より正式発売します。

健康的でナチュラルなライフスタイルが再評価されていることを背景に、光が人に与えるリラックス効果を利用して、たき火の持つ、落ち着いた雰囲気と穏やかで優しい光が睡眠ホルモン「メラトニン」の分泌を促進し、癒し・快眠効果につながる商品となっています。

<TAKIBI 販売ページ>

<http://item.rakuten.co.jp/beaubelle/beaubellef19/>



商品概要

商品名：「TAKIBI」（タキビ）

カラー：ブラウン/ナチュラル

口金：E-17 3W×1（LED ミニクリプトン球付属）

素材：木曽檜（きそひのき）

重量：950g（電球含まない）

価格：37,028 円（税別）

販売店舗

- 店舗：ライト・照明の BeauBelle（ボーベル）
- 店舗詳細 URL：<http://www.rakuten.ne.jp/gold/beaubelle/>

天然の木曽ヒノキをろくろを使って曲線を描く

「TAKIBI」を初めて見たとき、斬新なデザインとともに心に残るのが、ヒノキの美しい曲線です。

今回素材に使ったヒノキは良質な木材を産出することで有名な長野県木曽地域の天然ヒノキです。同じく地域で昔から残る伝統工芸の「ろくろ細工」の技術を採用し、通常では曲線的な加工が困難な木材を、見る人を魅了させる美しい曲線へと昇華させています。

デザインに込められた想い

人がぐっすりと快眠をするためにはメラトニンの分泌が必要不可欠です。このメラトニンの分泌と光の強さに密接な関係があり、特に日本の住宅で一般的な照明は光が強すぎる場合が多く、メラトニンの分泌を抑制してしまいます。これが睡眠障害を引き起こす原因の1つだとも言われています。TAKIBI のデザインは照明の原点ともいえるたき火をモチーフに夜と炎が共存していた空間がメラトニンの分泌に適していると想定し、リラックスできる空間づくりの1つになって欲しいという想いを込めています。



会社概要

- 会社概要：株式会社日昇
- 代表者：代表取締役社長 高橋重憲
- 業種：インテリア照明・家具の企画、オンラインサイトの運営
- URL：<http://nissho.main.jp/>

開発者の声

ディレクター・デザイナー

「再現と美しさの追求」

『TAKIBI』薪などでたき火をすると木が燃える時にその間から炎が立ち上ります。その情景をやさしい光にして表現したフロアーランプです。曲面加工でひのきの木目を美しく見せ、さらに曲線カットしてピースを組み合わせる事で、その面にあたる光が柔らかなグラデーションとなり、暖かみのある炎のように感じられます。

開発段階で「たき火」というテーマから、この最終形に行きつくまでにかかなりの時間がかかりました。

最初のデザインから、これをどうやって木で再現するか。行き着いた先がろくろ細工+職人の技という答えでした。

職人

「二度と作りたくないと思うほどの手間とこだわり」

上のシェード部分は1つの木から半球にろくろで削った後で、1つ1つを切り出しています。そこからさらに糸のこぎりでカットし、1つ1つサンダー（木を研磨する加工機）で曲面を出しました。2度と作りたくないと思うほど手間とこだわりを追求しました。こんなに面倒な仕事はないと思います（笑）

ただ、照明として出来上がったものを見ると、良い出来栄えだと感じますし、感慨深いものがあります。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社日昇

広報：中野修平（なかのしゅうへい）

tel.089-983-5771 fax.089-983-6128

(直通)080-3843-0223

E-mail:press@nissho.ehime.jp